

普及現地情報



発信年月日：令和6年(2024年)2月5日
所属名：東近江農産普及課東部
番号：D23-20
部門分類：130 工芸・特用作物
発信者名：瀨谷、西野

政所茶で新たな取り組み「抹茶」の生産に挑戦！

政所地域では煎茶が主に生産されていますが、近年は「平番茶」など煎茶以外の茶種の生産にも取り組まれており、その需要が伸びています。

今年度は新たな茶種として抹茶の原料となる「てん茶」の生産に2名が取り組まれ、当課は昨年5月からてん茶生産の栽培技術を支援してきました。そして、1月23日には「抹茶」の商品化に向けた勉強会を開催し、今後の政所茶としての「抹茶」の生産方法について意見交換等を行いました。

新茶の時期となる5月に、てん茶生産で重要となる被覆方法について支援するとともに、生産されたてん茶（抹茶）の成分分析等を実施するなど、政所の「抹茶」としての商品化に向けた調査を行ってきました。

勉強会の当日は、栽培方法、分析・調査結果を共有し、振り返りを行い、他産地のてん茶との比較とともに、実際に出来上がった「抹茶」の試飲を交え実需者に評価していただきました。結果、政所茶ならではの香り高い「抹茶」で、実需者からは良い評価を頂きました。調査研究の結果、被覆方法の違いによる色の違いが出ていることが分かり、今後の被覆方法や商品化に向けた検討が進みました。

当課は、地域の特産物「政所茶」の生産振興に向け、新たな商品化等への支援を行っていきます。



淹れた抹茶（薄茶）



稲わらを用いた被覆栽培の様子（5月）



てん茶・抹茶勉強会の様子